

令和5年7月25日

第1学年の保護者の皆様

苫小牧市立明倫中学校長 池田 健人

令和5年度苫小牧市統一学力検査の結果等について

盛夏の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御清栄のことと拝察申し上げます。

また、日頃から本校の教育活動に対しまして、御理解と御協力をいただき感謝申し上げます。

さて、4月18日（火）に実施しました苫小牧市統一学力検査の個人票（結果）につきましては、過日、お子さんを通して、各御家庭に配付したところですが、このほど本校の結果と考察がまとまりましたので、次のとおりお知らせします。

記

1 検査の概要

(1) 実施日

令和5年4月18日（火）

(2) 調査対象

市内中学校第1学年

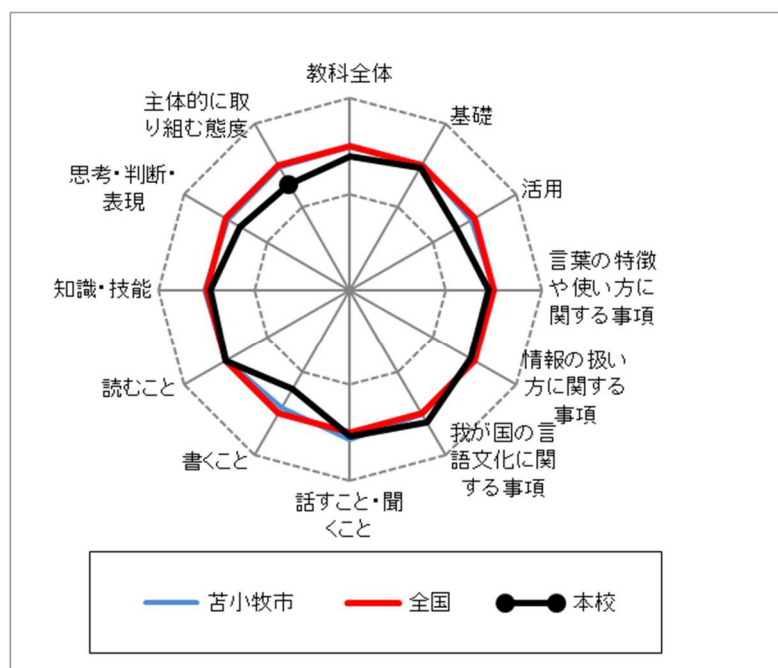
(3) 検査内容等

- ① 国語科及び数学科の2教科の学力検査を実施（出題範囲は前学年の学習内容）
- ② 標準学力調査（目標準拠評価方式）を実施

2 本校の結果と考察

(1) 国語科

- ① 各カテゴリー別における正答率の全国との比較（全国平均を50とした場合の標準スコアで比較）



②考察

【全体的な結果について】

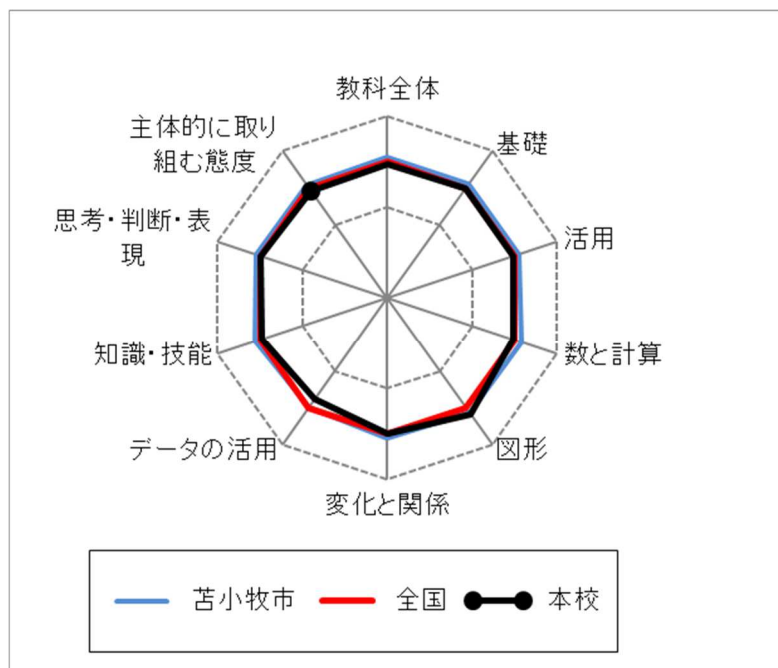
- ・半数程度の項目において、全国平均と同等の結果になった。
- ・主体的に取り組む態度、思考・判断・表現の項目において全国平均より数ポイント下回っている。
- ・書くことや活用において昨年と比較し改善傾向にあるが、取組を継続する必要がある。

【今後の方策】

- ・国語科のそれぞれの事項については平均及び平均以上であるので、基本的な語句・語彙を活用し自分の考えを表現する場の設定とディスカッション能力の向上、掲示物作成し、表現できる幅を増やしていくことを今後の課題とする。

(2) 数学科

① 各カテゴリー別における正答率の全国との比較（全国平均を50とした場合の標準スコアで比較）



② 考察

【全体的な結果について】

- ・すべての項目において全国平均と同等の結果となった。
- ・データの活用について全国平均より若干下回っているが、今後の取組で十分改善がみられる。
- ・全体的に苫小牧市のスコアより若干下回っており、今後の家庭学習等の対策で学力向上を目指したい。

【今後の方策】

- ・数学科では主体的に取り組む態度、思考・判断・表現、知識・技能ともに全国平均と同等であるので、さらに高めるべく、基礎・基本からの応用力強化を中心に学習を進めていく必要がある。
- ・不得意生徒の学力向上および得意生徒の学力伸長を目指した教科指導を目指していく。